

育成かながわ



◆発行責任者

神奈川県手をつなぐ育成会

会長 植松 みさご

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

TEL:045-323-1106 FAX:045-324-0426

E-mail ijkanagawa_k@yahoo.co.jp

URL <https://ikusei-kanagawa.jp/>

令和 3 年度通常総会報告

4 月 22 日（木）10 時 30 分より藤沢商工会館ミナパークにて開催されました。今年度は感染予防に配慮し、理事 25 名が会場で、代議員 10 名と来賓の方々にはリモートで参加していただく形の、初の“ハイブリッド総会”を試み、大変充実した総会となりました。総会の報告としては、土屋郁英常任理事の司会進行により会長と来賓挨拶、続いて大部さつき理事（綾瀬支部）の議長進行により議事の審議を行いました。2 名の方から質問と意見が出ましたが、議事は全て承認されました。総会後には休憩を挟んで全育連の久保厚子会長の講演がありました。（次頁）



～県障害福祉課長 佐藤恭子様 より～（要約）

県では、子どもが生まれたときから意思決定支援が重要であることを知ってもらうため、リーフレット「我が子の思いにむきあうため」を作成しました。育成会からの協力もありとても良い物ができ好評をいただいております。HP にも掲載しているのでよろしければご覧下さい。

新型コロナウイルス感染症において、福祉施設においてもクラスターが複数発生しています。地域で暮らす障がい児者が感染した時や濃厚接触者になったときのホームヘルプができるよう在宅療養支援事業が始まりました。皆さまが安心して生活できるよう取り組みを進めてまいります。

昨年 7 月に「障害者支援施設における利用者目線の支援推進検討部会」を設置しました。施設での支援を検証すると共に今後のあり方を検討して今年 3 月に報告書をまとめました。部会には育成会の副会長野口さんが参画していただき貴重な意見を賜りました。今後については、本人の望みや願いを第一とし、本人の可能性を最大限に引き出せるよう、施設のあり方や利用者目線にたった支援を実践するための方策を検討する場を設置したいと考えています。また、検討結果については、施設の支援の改善や新たな指定管理の公募要件に反映させていく予定です。

現在、第 6 期障がい福祉計画を策定中です。より実効性のある計画とするため、今後、障がい者団体の皆さまのご意見を賜りたいと存じます。

～植松みさご会長挨拶より～（要約）

昨年度は教育局との懇談会の実現や、県作成のリーフレット巻頭に先輩親としてメッセージを載せ、母たちの気持ちを伝えることが出来ました。今年度は HP を充実させること、県域の課題を集約して要望書にまとめること、引き続き津久井やまゆり園事件の考察を人権委員会が中心となり取り組むこと等、を計画しています。また、今夏の事務局移転に伴い組織基盤を確立できる活動を推進していきます。そのためには「コロナ禍だからできない」ではなく、様々な工夫をしながらそれぞれの地域が活発な活動になるよう、皆さまのご協力をお願い致します。



「育成かながわ」は、共同募金配分金により発行しています。

講演「育成会活動の原点」

（一社）全国手をつなぐ育成会連合会 久保厚子会長

総会終了後、（一社）全国手をつなぐ育成会連合会（以下「全育連」）の久保会長より育成会活動の原点から今後の在り方をお話して頂き、今後に向けての具体的な取り組みなどもお聞きする事ができましたので、以下にまとめました。



令和2年、全育連は一般社団法人を取得し、又村あおい氏を常務理事兼事務局長に迎えて事務局体制を整えました。今年度は組織体制を整え、財政基盤を確立できるようにし、そして地域育成会の活性化に向けて活動します。

育成会活動は4つの柱から成り立っています。我が子にも教育を、我が子にも人権と幸せを願う人権擁護活動。「どうしたらよいか」という具体的な道をさし示す政策提言。多くの人に理解してもらうための啓発キャラバン隊活動。そして運動の中心を支部においた、地域育成会の活性化です。

これらの活動によって法律や制度の確立もしてきました。昨今、インターネットの普及が障害児の親たちに与えた影響はかなり大きいと思われます。いろいろな情報も手に入るし、意見も発信できるし、友達もできます。私たちは確かに様々な知識をネットから得られますが、問題が解決されるわけではありません。子どもが学校を卒業後どこに行ったら良いか、その施設がどんな事業所か…など、生の声を聞くことが大切で、身近な真の情報はネットでは得られません。ネットでは決して手に入れることができないものが「心」です。人生で大切なのは、自分が本当に頼れる友達や仲間がいるかどうかです。これからは、オンラインで離れて繋がることと、リアルに繋がることの利点を生かす活動が大切です。

約70年前、知的障害児を持つ3人の母親から始まった育成会。これまで決して順風満帆ではありませんでしたが、いつも障がいのある方々の役に立ちたいという思いがあったから今日まで活動を続けてこられました。今、薫にもすがりたいと思っている親御さんがいるならば、同じ経験を持つ私たちがその薫の一本になりましょう。一歩踏み出し、次の世代へと繋げていきましょう。

出会いや繋がりが財産になる！ 1人を見る夢はただの夢にすぎない 皆で見る夢は実現できる！

リモートではありましたが、全育連の動きを身近に受け止めるととてもいい機会になりました。財政基盤の確立、インターネットの活用は神奈川県育成会としても今後の大きな課題となっています。これからは今まで以上に全育連と力を合わせて活動していく必要性を感じました。

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とそこでご家族をワイドにお守りする保険です

特長1

代理手続き
代理告知が
可能

障がいのある方向けプラン

特長2

告知対象
疾患の緩和

障がいのある方向けプラン

特長3

成年後見
費用を補償

障がいのある方のご家族向けプラン

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先（取扱代理店）に
資料請求をお待ちしております。

【お問い合わせ先取扱代理店】

ぜんち共済株式会社
TEL: 03-6910-0850 FAX: 03-6910-0851
URL: <http://www.z-kyosai.com/>
MAIL: gan@z-kyosai.com
(営業時間 平日9:00～17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

東京海上日動火災保険株式会社
公務第一部東京公務課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL: 03-3515-4126 (営業時間: 平日9:00～17:00)

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。
「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

2020年6月作成
20-TC01440

コロナ禍における”オンライン”第二弾

昨年度、全育連の「育成会フォーラム」「行政説明会」がユーチューブによる配信、また2月の理事会は初めてのオンラインでの開催となりました。共に初めての試みでしたので、感想をお聞きました。



《育成会フォーラム》

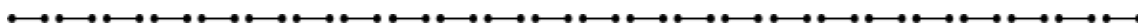
*ユーチューブ配信という取り組みは、離れている方のお話が見聞きでき、図式や表などその場で映しての説明などが分かりやすいと感じました。

コロナ禍、働き方も変わってきている中、障がい者雇用や働き方は業績の悪化、テレワークの普及等の理由で仕事が減ったり、解雇されたりしている。何とか新しい働き方や、支援をお願いできればと思い、皆で声を上げていかれればと思います。親なき後、いろいろ心配はあります。ユーチューブ配信等で障害のある方たちの抱える不安や悩み等多くの方に関心を持っていただく事の一つになれば良いと思います。

(海老名支部 岡田喜与子)

*フォーラムについては専門家のお話を凝縮してお聞きできたのは、贅沢でした。また、興味あるところやわかりにくいところは何度もじっくり見返せるのが良かったです。反対に関心の薄いところは飛ばして、時間を短縮しました。

質問をしたいところもあるので、問い合せできるといいなと思いました。(二宮支部 北山弓子)



《オンライン理事会》

*2月5日オンライン理事会初参加でした。参加してみて「なるほど」でした。いつもの理事会より参加者が多いし、皆さんの顔は一目で見えるし、発言は一人ずつ順番に、私語で発言者の声が聞こえないこともなく、とても有効な方法だと感じました。ただ、当然のことながら、その場の臨場感・空気感是对面会議にはかないません。対面とオンラインを上手く組み合わせただけだとありがたいです。

(茅ヶ崎支部 瀧井正子)

*初めての経験でしたが、事前に周りの方々から教えて頂いておりましたので無事に会議に入れました。会議はほぼいつもの会議と同様でした。時間の制約があるので座談会のようにAさんの意見にBさんが意見を出したり、その意見にCさんが別に意見を述べる等の進行は少し無理があるかなと思いました。それと、司会をされる方の事前の準備が大変だと感じました。

でも、コロナの危険なしで集まれる方法として発展する手法だと思いました。(葉山支部 市倉熙一郎)

未来あんしんサポート 未来あんしんサポート® 「知的障がい」や「自閉症」等の障がいのあるお子さまのために “親なきあと”をサポートするご提案です 親なきあとのこと… 障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配… この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。 この子への想いを 誰かに引き継ぎたい。 「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を確実に未来へのこします 障がいのあるお子さまの親御さまは、「親なきあと」の生活がご心配のことかと思えます。 「未来あんしんサポート」は、「親あるあいだ」に“親なきあと”をご準備いただく ためのご提案です。 “生命保険信託”の仕組みによって、親御さまがお亡くなりになられた場合にFWD 富士生命がお支払いする保険金を、みずほ信託銀行がお子さまのための財産とし て管理しながら、定期的にお子さまにお届けします。 ●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●株式会社ジェイアイシーは「個人情報の保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、 これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株式会社ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2018年6月1日現在のお取扱い内容に基づき作成しています。 「未来あんしんサポート」とは、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。		お問い合わせはこちらへ 未来あんしんサポートに関するお問い合わせ ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル ☎ 0120-580-503 通話料 無料 受付時間：月～金（祝日・年末年始を除く）9:00～17:00
【生命保険募集代理店・信託契約代理店】 株式会社ジェイアイシー 本 社 千160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新館三井ビル2号館2F ホームページ www.jicgroup.co.jp		【生命保険引受保険会社】 FWD富士生命保険株式会社 【所属信託会社】 みずほ信託銀行株式会社 登録No.FWD-C1549-1806

神奈川県教育委員会教育局との懇談会

3月23日（火）神奈川県教育委員会教育局特別支援教育課の堀野史雄様とインクルーシブ教育推進課の朝賀千枝子様にお越しいただき、通学支援とインクルーシブ教育をテーマに意見交換を行いました。湘南西部ブロックの学齢期のお子さんを持つ会員の参加もあり現状の課題をお伝えしながら、懇談会は短い時間ではありましたが大変有意義な時間を過ごすことができました。

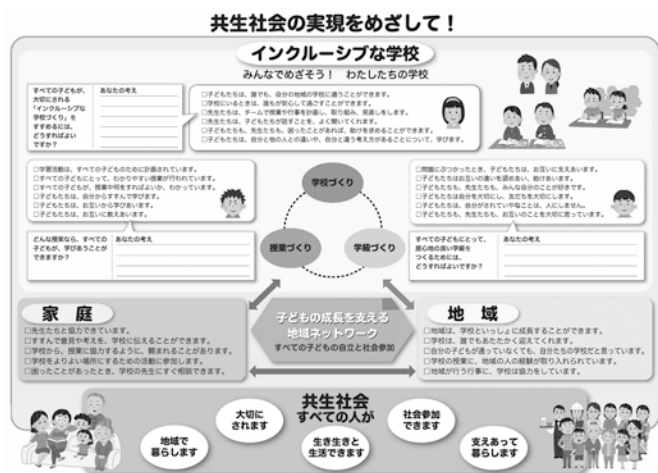
～ 懇談会に参加して ～

懇談会では通学アンケートの結果（次頁参照）を共有し、問題を抱えている保護者の声を伝えました。回答者のうち約半数は自力で通学できていないという結果でした。高等部ではスクールバスがないことや通学先が遠くなることから、自力通学できない子の割合は高くなっています。悩み事の回答では、自分の具合が悪く送ることが出来ず休ませた、半日の時は近くで待っていた、兄弟を抱えての負担、仕事に間に合わない、など切実な声が多く寄せられていました。

教育局の方に「この現状を知って欲しい、通学を支援計画の中に含めることで問題を可視化し、それぞれのニーズにあった支援計画をたててもらいたい」と訴えました。堀野様からは「実状をよく理解した。これからの施策に反映するよう検討していく。」という回答をいただきました。学校、地域の福祉相談サービス事業所、市や町の福祉課などの機関が連携して、子どもの通学を支えてもらいたいです。そのために県からの働きかけが必要と考えます。是非、早急にそのような施策を実施していただきたいと思っています。

後半はインクルーシブ教育について、朝賀様より実施校の現状について紹介していただきました。日々の学校生活の様子、卒業後の進路など、具体例やデータを見せていただき、大変勉強になりました。色んな人がいて当たり前、という意識を広めるためには、保育園・幼稚園・小学校からインクルーシブ教育を実施していただきたいと思います。

（大磯支部 浅野 玲子）



知的障がい児者・自閉症児者の 家族の安心を支えます

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

■ 担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ 引受保険会社

AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

主な補償内容

病気でケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬儀費用保険金	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事中事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会

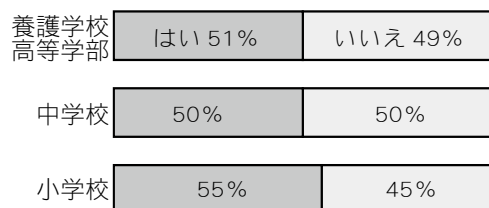
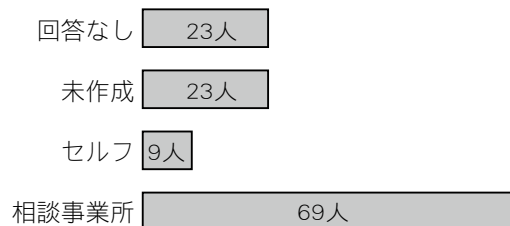
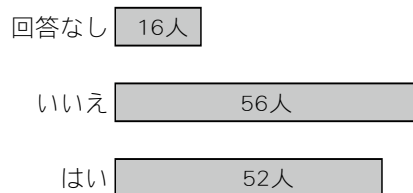
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県社会福祉会館内
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2020年12月現在の内容です。(D-004960 2022-03)

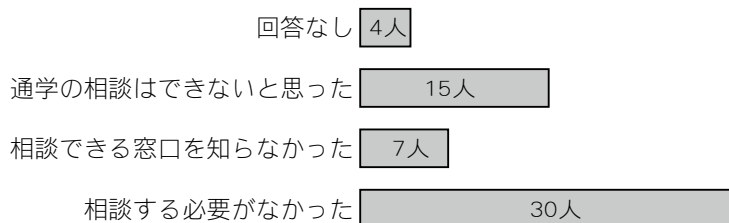
※毎月1日付で加入できます。2021年度もよろしく願いいたします。

通学に関するアンケート調査結果

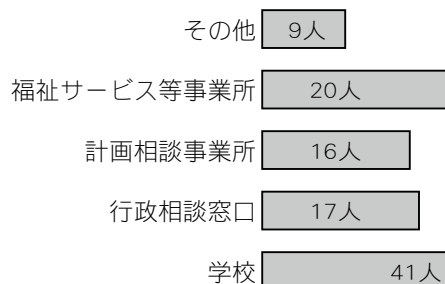
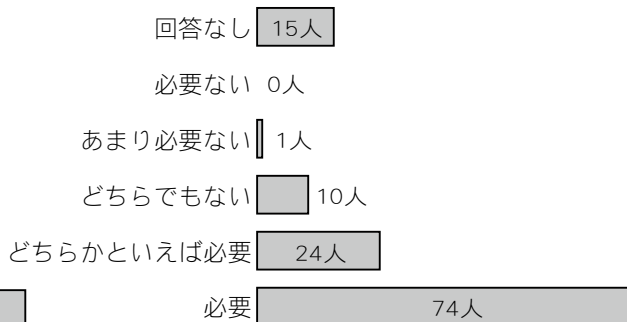
障がいのある児童・生徒の通学は、長年の悩みの一つです。今年 1 月、学齢期又は卒業されて間もない方の保護者を対象にアンケート調査（回答者数 124 名）を実施しました。湘南西部ブロックではまさに現在悩まれている声を多く集めることができました。前述の自力通学に対する課題の他、特別支援学校のバス停は地域の理解が得られないと設置できず家から離れていたり徒歩圏内にバス停がないなどバス停にも課題がありました。また高等部では自力通学ができて通学中のトラブルなど市民への理解不足も浮き彫りになり保護者の心理的負担もありました。通学は相談できないと考えていた方が多かったのに対し、関連機関との連携・支援が必要であると 90% が望んでいました。

1. 自力通学ができたか**2. サービス等利用計画作成について****3. 通学の相談をしたか****3. - ①通学の相談をしたか**

いいえの時の理由(複数回答)

**3. - ②通学の相談をしたか**

はいの時の相談先(複数回答)

**4. 関連機関との連携は必要か**

通学は教育の一環であり、個別支援計画の中に位置付け本人の成長に合わせた通学支援を考えていく必要があります。既に特別支援学校では計画を作成する動きがありますが、作成だけに終わらないよう適切な支援に繋げなくてははいけません。本人の意思を尊重しつつ、地域に障害者差別解消法や合理的配慮の周知・理解を促し、バス停設置や見守りなどの支援が広がるよう地域交流を積極的に行うことが大切です。お迎えに関しては放課後デイサービスの利用で助かっているとの声がある反面、送るための支援はありません。移動支援サービスの内容は市町村による格差があるだけでなく、急な対応が困難・報酬の低さ・事業所の不足等の課題も多くあります。このような様々な課題が通学支援に影響しないよう改善されることも求められています。



座間支部

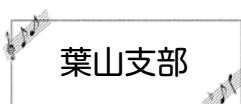
去る 2 月 18 日（木）サニープレイス座間にてお気軽勉強会を開催しました。神奈川県手をつなぐ育成会会長の植松さんも参加され、会員 8 名と合わせ総勢 9 名のこじんまりした会となりました。こじんまりとはしていましたが、定員の半分の人員で使用との事だったので丁度いい人数ではありませんでした。

今回のテーマは「歯医者さんが診た知的障害者のお口の中」と題し、講師として神奈川県歯科医師会常務理事の堀真治先生（厚木、荻野歯科医院）に講演して頂きました。神奈川県の障害者歯科診療体制、2019 年に県育成会で実施されたアンケート調査の結果報告、厚木市歯科保健センターの紹介、虫歯と歯周病の原因バイオフィルムについて、知的障がい者への口腔ケアを通じた自立支援のお話があり、皆さん熱心に受講され、その後は質疑応答を活発にされていました。

（座間支部 佐藤 妃代）

～参加者からの感想～

- ♪ 資料等細かく説明して頂きとても分かり易く、改めて歯のケアの大切さを感じ、大変でも定期的に歯のケアを続けていきたいと思いました。歯科ケアで知らない事を聞けて勉強になりました。
- ♪ 我が娘へのフォローの仕方がよくわかりました。口腔内の清潔さ、歯周病菌が全身に多く関わる事を伺い、気を付けて行こうと思いました。
- ♪ 身の事は殆ど自立している為、歯磨きがきちんと出来ているかどうかを本人が嫌がって確認が難しいですが、定期的に通院してチェックしてもらわないといけないな…と改めて感じました。



葉山支部

◇◇ホームページの紹介◇◇

葉山町手をつなぐ育成会は、知的障害のある当事者ひとりひとりが尊重され、安心して自分らしく暮らせることを願って年間を通して様々な活動を行っています。ライフステージによって生じる様々な問題にも勉強しながら解決への道をみんなで考えています。「ともに生きる社会」実現に向け、私達からの発信が「共生社会」を考える一つのヒントになればと本人、家族、地域の方々とのコミュニケーション、相互理解などの機会を重ねています。

ホームページでは、葉山ならではのバリアフリーヨットなどの様々なイベントの活動の報告・紹介や、共生社会に関するトピックのリンク紹介、広報誌のウェブ掲載などを行っています。（ホームページの他フェイスブックもあります。）

（葉山支部 有川 雅裕）



編集後記



長年お世話になった神奈川県社会福祉会館からの引っ越しが目前となりました。コロナ禍の中、最後の理事会を 7 月に社会福祉会館で開催できて、慣れ親しんだ会館との最後のお別れが出来ると良いのですが…。新しい会館での活動を始める秋頃にはコロナも収束して、安心して理事会が開催出来る事を願っています。会議後のランチも楽しみたいですね！ワクチンの予防接種に期待しましょう！！

（広報委員 諸星 由美子）